

# Governance

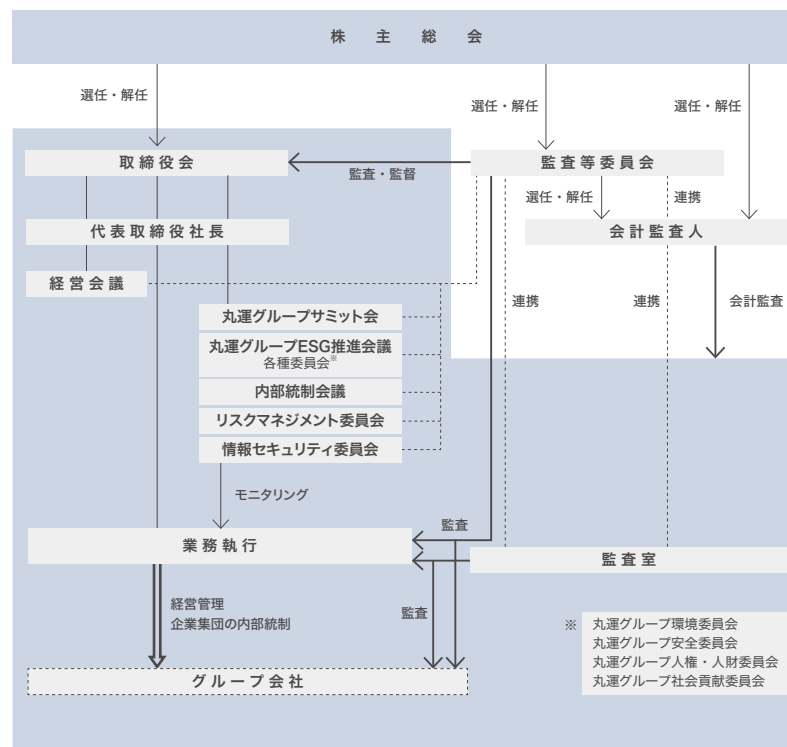
## ガバナンス

## ガバナンスへの取り組み

### 基本的な考え方

丸運グループは、経営理念である「お客さまの物流ソリューションを、最高の品質と創造力で提供し、社会の発展、企業の繁栄、個人の幸福に貢献します」に基づき、物流という社会基盤の一端を担う企業として、持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図っています。この目的を達成するため、経営の透明性の向上と、経営の監督機能の強化を図り、コーポレート・ガバナンスの実効性を高めていきます。

### コーポレート・ガバナンスの体制 (2025年6月時点)



### 取締役会および経営会議

当社の取締役会は、取締役を少数、かつその半数以上を他社出身者とし、広範な視点からの意思決定を行えるよう機能を強化するとともに、独立社外取締役を2名以上選任し、独立した観点から経営に対する監督を行う体制としています。

定例の取締役会を原則として毎月1回、また、必要に応じて臨時に開催し、重要事項の決定および業務執行状況の監督を行っています。社外取締役以外の常勤の取締役は、取締役会の決定によって定める業務の執行に当たっています。

また、役付執行役員および社長が指名する執行役員からなる経営会議を原則として毎月3回開催し、社長を議長として、重要事項の協議、業務執行に関する基本的事項および重要事項に係る意思決定を行っています。この経営会議には常勤監査等委員も出席しています。

### 監査等委員会

監査等委員会は、取締役の職務執行の監査・監督、内部統制システムの運用状況の確認、会計監査人の評価等を行っています。

また、監査等委員全員は、丸運グループサミット会、丸運グループESG推進会議、内部統制会議等に出席し、常に会社の状況について報告を受けており、これらの会議において必要と判断したときには、自由に意見を述べる体制となっています。

Governance ガバナンス

# 役員一覧

(2025年6月25日現在)

氏名・役職



代表取締役社長

**中村 正幸**

経営者として当社グループの経営を担い、強いリーダーシップでグループ全体を牽引する等、企業経営全般に関する豊富な経験・実績・見識を有していることから、当社グループの持続的な成長および中長期的な企業価値向上の実現のために必要な人材と判断したため。



取締役

**佐久間 成安**

これまで培ってきた潤滑油・化成品事業および貨物輸送事業の営業戦略の展開等の経験や知識をもとに業績向上に尽力する等、物流業界に関する豊富な経験・実績・見識を有しており、また、企業経営の全体最適の視点により、取締役としての職責を果たしていることから、当社グループの持続的な成長および中長期的な企業価値向上の実現のために必要な人材と判断したため。



取締役常務執行役員

**中澤 晃成**

コーポレート管理本部長として、経営企画部、広報・IR部、総務部、経理部、人事部、情報システム部といったコーポレート部門の効率的運営に尽力する等、法務・コンプライアンス・人材開発等に関する豊富な経験・実績・見識を有しており、また、企業経営の全体最適の視点により、取締役としての職責を果たしていることから、当社グループの持続的な成長および中長期的な企業価値向上の実現のために必要な人材と判断したため。



社外取締役

**太内 義明**

グローバルな非鉄金属企業およびエネルギー企業において内部統制、財務、企画、IR等幅広い経験を有するとともに、その経営に携わる等、経営課題への対処等にかかる豊富な知見を有していることから、当社グループの持続的な成長および中長期的な企業価値向上に向け、適切な監督、助言をしていただくことを期待するため。



社外取締役(監査等委員)

**中澤 謙二**

監査等委員会議長として監査等委員会の活発かつ効率的な議事運営を行うとともに、グローバルなエネルギー企業において企画部門を長年担当する等、経営課題への対処等にかかる豊富な知見を有しており、社外取締役として当社業務に対する的確な助言、提言を行っていることから、監査等委員として、当社の中長期的な企業価値向上に向け、独立した立場から適切な監査、監督、助言をしていただくこと、および客観的・中立的立場で当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定について関与、監視等をしていただくことを期待するため。



社外取締役(監査等委員)

**鳴瀧 英也** 独立

化学業界における経営層としての豊富な経験と知識を有しており、当該知見を活かして、監査等委員として、当社の中長期的な株主価値、企業価値を向上させるにあたり、独立した立場から経営を監査、監督、助言をしていただくこと、および客観的・中立的立場で当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定について関与、監視等をしていただくことを期待するため。



社外取締役(監査等委員)

**安原 貴彦** 新任 独立

金融業界における経営層としての豊富な経験と知識を有しており、当該知見を活かして、監査等委員として、当社の中長期的な株主価値、企業価値を向上させるにあたり、独立した立場から経営を監査、監督、助言をしていただくこと、および客観的・中立的立場で当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定について関与、監視等をしていただくことを期待するため。



社外取締役(監査等委員)

**平野 双葉** 新任 独立

弁護士として、資源エネルギー企業を含む企業の法務に長年携わっており、裁判官・行政庁における経験や海外経験、企業のコンプライアンス、ガバナンス、国内外の法務業務に関する専門的な知識・経験を有しており、当該知見を活かして、監査等委員として、当社の中長期的な株主価値、企業価値を向上させるにあたり、独立した立場から経営を監査、監督、助言をしていただくこと、および客観的・中立的立場で当社の役員候補者の選定や役員報酬等の決定について関与、監視等をしていただくことを期待するため。

選任理由

取締役会出席回数(2024年度)	11回/11回	15回/15回	11回/11回	11回/11回	15回/15回	11回/11回	—	—
監査等委員会出席回数(2024年度)	—	—	—	—	15回/15回	11回/11回	—	—
<b>スキルマトリックス</b>								
企業経営	○	○	○	○	—	○	○	—
業界知見	—	○	—	—	○	—	—	—
財務会計	—	—	—	○	—	—	○	—
法務・コンプライアンス	—	—	○	—	○	—	—	○
人材開発	—	—	○	—	—	—	—	—
国際性	○	—	—	—	○	—	○	○
ESG	○	—	—	—	—	○	—	—

※上記一覧表は、各人の有するスキルのうち最大3つに○をつけています。また、各人の有するすべての知見や経験を表すものではありません。

## 実効性向上への取り組み

### 取締役会の実効性評価

経営の監督の実効性を確保するため、毎年5月に第三者機関によるアンケートの実施等により全取締役が取締役会の評価を行っています。

アンケートは、取締役会の構成・運営・議論・モニタリング機能、社外取締役のパフォーマンス、取締役に対する支援体制、トレーニング、株主（投資家）との対話、自身の取り組み、総括についての内容で実施され、得られたアンケートの回答結果をもとに取締役会で議論を行い、分析・評価を実施しました。

### 2024年度評価結果

取締役会は、概ね適切に機能しており、取締役会の実効性は確保されていることを確認しました。

昨年の評価で課題として認識された「取締役会の議論」のうち、「中期経営計画の進捗状況のフォローアップ」については、引き続き対応が必要であるものの、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた検討」については、取り組みは進んでいることを確認しました。

### 今後の課題

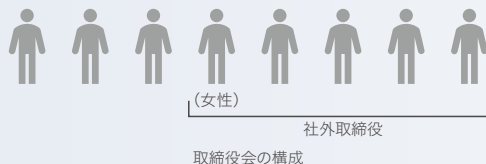
「取締役会の議論」のうち、「中期経営計画の進捗状況のフォローアップ」については引き続き課題とし、これに加えて、「経営戦略・経営計画の決定における収益力・資本効率等を意識した議論」を新たな課題として認識し、取締役会メンバー全員が共有しました。

今後、本実効性評価を踏まえ、取締役会の機能を高める取り組みを継続的に進めていきます。

## 透明性向上への取り組み

### 取締役の選解任と取締役候補者の指名に当たっての方針と手続き

取締役の選解任・指名に当たっては、「丸運コーポレートガバナンス・ガイドライン」に定める基準およびジェンダー等の多様性やスキルの観点を踏まえて、取締役社長が対象者を選定し、独立社外取締役が過半数を占める監査等委員会と協議したうえで（取締役候補者が監査等委員の場合は監査等委員会の同意を得たうえで）、取締役会の決議を得て株主総会議案としています。



### 取締役の個人別の報酬決定に当たっての方針と手続き

取締役（監査等委員である取締役を除く）の報酬は、業績の反映および株主と価値を共有する観点から、業務執行を担当する取締役については、基本報酬および業績連動報酬で構成されるものとし、業務執行を担当しない取締役については、基本報酬のみとしています。

取締役の個人別の基本報酬は、「取締役報酬支給規定（内規）」に基づき、独立社外取締役が過半数を占める監査等委員会と協議のうえで、取締役会の決議により決定します。

取締役の個人別の業績連動報酬は、「取締役報酬支給規定（内規）」および「業績連動報酬支給規定（内規）」に基づき、独立社外取締役が過半数を占める監査等委員会と協議のうえで、取締役会の決議により取締役の個人別の業績連動報酬の決定を再一任された取締役社長が決定します。

### 個人別の報酬の割合の決定方針

業務執行を担当する取締役の種類別の報酬の割合については、役職、職責等を踏まえて決定しています。なお、報酬の種類ごとの比率の目安は、概ね基本報酬80%、業績連動報酬20%としています。

※丸運招集通知  
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/9067/announcement/109485/00.pdf>



### 政策保有株式

当社は、事業活動による中長期的な企業価値の向上を目的として取引先等の株式を取得・保有しています。保有する政策保有株式については、毎年、取締役会において、個別銘柄毎に、上記目的に適合しているか、株式保有先企業との取引状況等を総合的に考慮して検証し、その結果、保有の合理性が認められなくなったと判断される銘柄については売却を検討します。政策保有株式に係る株主総会議決権の行使は、議案の内容を吟味して、上記保有目的に沿った内容か否か、株主価値を毀損するような内容か否か等を総合的に勘案のうえ判断し、取締役会に報告しています。

また、当社株式を政策保有株式として保有している会社（政策保有株主）からその株式の売却等の意向が示された場合には、取引の縮減を示唆すること等により売却等を妨げることはありません。また当社は、政策保有株主との間で、取引の経済合理性を十分に検証しないまま取引を継続する等、会社や株主共同の利益を害するような取引を行いません。

## 内部統制システム

### 基本的な考え方

当社は、会社法および会社法施行規則等に基づき、業務の適正性を確保するための内部統制システムの基本方針を定め、かかる体制の下で会社の業務の適法性・効率性の確保並びにリスクの管理に努めるとともに、環境の変化に応じて体制の見直しを行い、その改善・充実を図ることとしています。

### 運用状況

#### (1) 丸運グループ経営理念の制定

丸運グループとして、「こういう会社でありたい、グループ社員一人ひとりがこうした行動ができる社員でありたい」という目指す方向を表した「丸運グループ経営理念」を2015年12月1日に制定し、その後2020年4月1日には、丸運グループを取り巻く経営環境の変化等を踏まえ、一部改定しました。

丸運グループ各社の会議室、執務室等にこれを掲示すること等により経営理念の浸透を図っています。

#### (2) パートナーシップ構築宣言の公表

当社は、取引先とのより良い関係構築および取引の健全化の一層強化を目指し、サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者との連携・共存共栄を進めることで新たなパートナーシップを構築することを宣言しています。

#### (3) 法令および定款に適合することを確保するための体制

当社の取締役、執行役員、関係会社社長が年2回開催される内部統制会議に出席し、内部監査の実施状況・フォローを行うとともに、金融商品取引法上の内部統制の評価状況その他の内部統制システムに関する問題点等を共有化し、解決策の確実な実施等をモニタリングしています。

#### (4) 企業集団における業務の適正を確保するための体制

毎年4月および10月に開催される丸運グループサミット会に当社の取締役、執行役員、関係会社社長等が参加し、中期経営計画をはじめ連結経営に関する意識統一を図っています。

国内の関係会社については、各社の監査役が業務監査も行うことにより各社の責任を明確にしています。また、海外の関係会社については、監査役や監査役に相当する監事を当社社員が務め、監査またはリモート会議を通じて、現地トップの業務遂行を定期的にチェックしています。

## コンプライアンス

### 基本的な考え方

丸運グループは、総合物流業として安全運行と安定輸送を基本に、効率的物流システムの実現に努め、環境保護と社会の発展に寄与することをモットーとしています。

企業活動のあらゆる場面において、企業人として、社会市民として、法令遵守はもとより社会規範・企業倫理に則って誠実に行動することを「丸運グループコンプライアンス基本方針」に定め、グループ全体でコンプライアンスの推進を図ります。

### コンプライアンス意識の向上

丸運グループでは、毎年9月を「コンプライアンス推進月間」と定め、コンプライアンスについての関心と理解を深めるとともに、コンプライアンス意識の高揚を図るための全員参加型活動を実施しています。2024年度は主に以下の活動に取り組みました。

- トップメッセージの発信
- コンプライアンス意識調査分析結果のフィードバック
- コンプライアンス意識調査の実施
- 重点法令の説明
- コンプライアンスに関するeラーニング
- コンプライアンスクイズの実施



2024年度に実施したコンプライアンス意識調査では、性別および役職の属性項目を新たに追加し、属性別の分析を行いました。その結果、一部の項目において属性による認識の差が見受けられました。今後は、こうした認識の差を解消するための施策の検討を進めていきます。

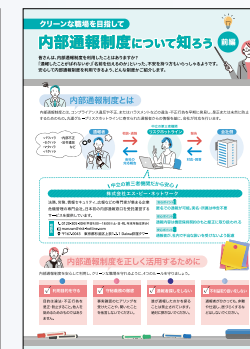
その他の期間にも、過去のコンプライアンス関連事例を紹介する「コンプライアンス通信」の定期発信や、インサイダー取引規制に関するeラーニング研修の実施等、コンプライアンス意識のさらなる向上に向けて取り組んでいます。

### 内部通報制度の理解度向上

丸運グループでは、内部通報制度として「丸運グループリスクホットライン」を設置しています。法令上の疑念を連絡しやすくするため、通報窓口を専門機関へ委託し、匿名での通報を受け付けています。また、通報者が不利益を被らない体制を整備し、窓口へ寄せられた案件は、外部の専門家のアドバイスも受けつつ、個別に適切に対応しています。ポスター掲示や社内誌を活用し本制度の周知を図り、コンプライアンスに係る諸問題の早期把握とコンプライアンス強化に努めています。



周知ポスター



社内誌掲載ページ

# リスクマネジメント

## リスクアセスメント

潜在的リスクの見える化を目的として、2024年度にリスクアセスメントを実施しました。

内部環境と外部環境を網羅する4分類（事業部門、コーポレート部門、外部環境、経営戦略）から102項目のリスクを洗い出し、「影響度」と「発生頻度」を5段階で評価したリスクマップを作成しました。また、2025年2月には経営陣を交えたワークショップで内容を精査し、リスク一覧表とリスクマップを完成させました。これらは、2025年度よりリスクマネジメント委員会へ引き継いでいます。



経営陣参加のワークショップ

## BCP（事業継続計画）の策定

社会活動のインフラを担う物流企業として、大規模地震が発生した際の事業の継続性を確保するため、2024年度にBCP（事業継続計画）を策定しました。

BCPでは、従業員の安全を守るための防災・安全対策を推進するとともに、物流の早期復旧とお客さまからの要請に迅速に対応できる体制の構築を目指しています。また、地域社会への貢献として、緊急物資の輸送支援等にも取り組み、災害時においても継続的な物流サービスの提供を図ります。

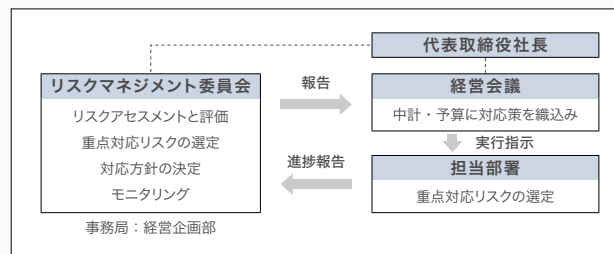
今後は、BCPに基づく訓練の実施と定期的な見直しにより、計画の実効性を高めていきます。

## 基本的な考え方

丸運グループは、「丸運グループ経営理念」の実現並びにステークホルダーの利益を阻害する要素の除去・軽減を図ることを目的として2025年4月に「丸運グループリスクマネジメント基本方針」を制定しました。

有形・無形の資産、企業活動、ステークホルダーに重大な被害・損失を与え、企業経営に影響をもたらす可能性を当社グループの管理すべきリスクと捉え、適切なリスクマネジメントが継続的に実施される体制を整備し、取り組んでいます。

## リスクマネジメント体制

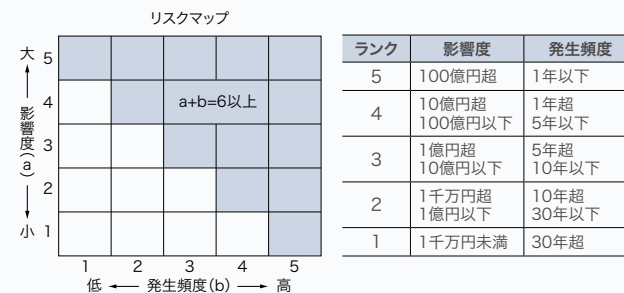


丸運グループでは、リスクマネジメントの実効性を高めるため、代表取締役社長を委員長とし、執行役員および取締役を委員とする「リスクマネジメント委員会」を設置しています。

リスクマネジメント委員会は、リスクアセスメントによって洗い出されたリスクを評価し、重点対応リスクの選定および対応方針を決定し、経営会議に報告（答申）します。経営会議は、予算や中期経営計画に重点対応リスクの対応策を織り込み、担当部署を決めて、その実行を指示します。リスクマネジメント委員会は対応策の実行状況をモニタリングし、リスク全体の再評価と新たな重点対応リスク・対応方針を決定します。経営企画部は、リスクマネジメント委員会の事務局としてこの一連のサイクルを回し、当社グループのリスクマネジメントの実効性の向上を図っています。

## リスクの選定

2024年度に実施したリスクアセスメントによって洗い出された102項目のリスクについて、当社グループの経営に与える「影響度」と「発生頻度」のそれぞれを1から5点で評価し、影響度と発生頻度の合計が6以上となるリスクを抽出し、さらに経営環境におけるリスクの増大傾向や対応の喫緊性等を考慮して、当社グループとして重点的に取り組む13の「重点対応リスク」を選定しました。



## 丸運グループの重点対応リスク

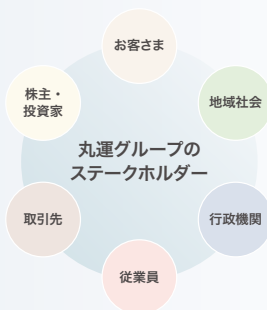
経営リスク	外部環境リスク	事業リスク
1. 人材の確保に関するリスク	6. 自然災害に関するリスク	11. 危険物保管・輸送に関するリスク
2. DX戦略に関するリスク	7. 燃料価格および人件費に関するリスク	12. 重大交通事故に関するリスク
3. 新規事業展開に関するリスク	8. サイバー攻撃・情報セキュリティに関するリスク	13. 特定取引先への依存に関するリスク
4. 海外事業のガバナンスに関するリスク	9. 法規制に関するリスク	
5. ESG対応に関するリスク	10. 国際情勢に関するリスク	

リスクに関する詳細は有価証券報告書に記載  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/9067/yuho\\_pdf/S100W1FE/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/9067/yuho_pdf/S100W1FE/00.pdf)

## ステークホルダーとの対話の充実

### ステークホルダーエンゲージメント

丸運グループは、お客さま、株主・投資家、地域社会等、さまざまなステークホルダーの皆さまとの対話を尊重し、ともに成長していくことを目的として、ステークホルダーエンゲージメントを行っています。



	主な対話の方法・機会
お客さま	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さま訪問による情報交換</li> <li>顧客満足度調査の実施</li> <li>ホームページ等の問い合わせ窓口の設置</li> <li>ホームページ上での情報提供</li> </ul>
株主・投資家	<ul style="list-style-type: none"> <li>株主総会の実施</li> <li>決算説明会の「四半期毎の書き起こし」の開示</li> <li>個人投資家向け説明会の実施</li> <li>株主アンケートの実施</li> <li>年次報告書（サステナビリティレポート等）の発行</li> <li>ホームページ上での経営情報等の情報開示</li> </ul>
取引先	<ul style="list-style-type: none"> <li>お取引先訪問による情報交換</li> <li>ホームページ等の問い合わせ窓口の設置</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種研修制度</li> <li>上長による定期的な面談</li> <li>ドライバーズミーティングによる意見交換</li> <li>社内誌の発行</li> <li>内部通報制度の活用</li> </ul>
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令・ルールへの対応</li> <li>業界団体を通じた活動</li> </ul>
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動（清掃活動、こども110番のいえ）等の社会貢献活動</li> <li>ホームページおよびサステナビリティレポート等での情報発信</li> </ul>

### ホームページの全面リニューアル

IR活動のさらなる充実を図るため、2024年10月に丸運のホームページを全面的にリニューアルしました。最新情報をより分かりやすくお伝えすることを目的に、デザインや構成を一新し、画面の見やすさや情報の探しやすさといった視認性・操作性の向上を図りました。

また、情報更新の柔軟性を高めることで、丸運グループの取り組みをタイムリーに発信できる体制（2025年8月より「丸運コラム」の開設）を整え、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションの強化に努めています。

今後も、ホームページの内容を充実させ、透明性の高い情報発信に努めていきます。

丸運ホームページ <https://www.maruwn.co.jp/>



### 公式SNSの開設およびメディアへの出演

お客さまとのつながりをさらに広げ、企業PRを通じた認知拡大を図ることを目的として、2024年度に丸運の公式SNSアカウントを開設しました。特に人材採用の強化につながるよう、丸運グループの社風やドライバーの仕事を中心とした内容を工夫しながら発信しており、丸運グループの魅力をより身近に感じていただけるよう努めています。

また、ドライバーにフォーカスしたTVドキュメンタリー番組への出演やCMの制作も行いました。



#### 株式会社丸運【公式】SNSアカウント

TikTok  
<https://www.tiktok.com/@maruwn.transport>

Instagram  
[https://www.instagram.com/maruwn\\_transport\\_/](https://www.instagram.com/maruwn_transport_/)

YouTube  
[https://www.youtube.com/channel/UCGldw9R\\_LNCHcr5o62Arq2A](https://www.youtube.com/channel/UCGldw9R_LNCHcr5o62Arq2A)

